

宝物としての和同開珎

古墳時代前期に開拓され、平安時代にかけて大規模な集落と有力な豪族の住居があつたと考えられている、弁天西遺跡。現在の小仙波町四丁目を発掘した第十八次調査で、奈良時代前期（八世紀前半）の住居跡から、和同開珎が一枚発見されました。

和銅元年（七〇八）に発行された和同開珎は、国内で鑄造・流通した最古の貨幣です。当時の都であつた奈良とその周辺で多く出土することから、日常的な交換手段として流通していたと考えられます。それ以外は奈良・平安時代の役所である官衙や、寺院など、その地域の中心的な場所で見られ、発見されていません。

和同開珎は、貨幣として流通していない場所では富や権力を象徴する、都からもたらされた宝物でした。地方で発見される物の多くは、人を埋葬するときや建物を建てる際の儀式で使われています。

同遺跡でも、住居跡の南西の床面から出土しました。



直径は25mm、厚さは1mmあります

家を作るときか取り壊すときの儀式に、使われたと考えられます。県内では六例目となる今回の発見は、川越が地域の中心的存在だったことを裏付ける貴重な資料です。

市税納期のお知らせ

7月は、固定資産税第2期・国民健康保険税第1期の納期です。忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当 TEL224-5686

どんぐり

編集後記

7月7日、地球温暖化について考えるきっかけとして行われた一斉消灯キャンペーン。市役所では午後8時の合図とともに真っ暗に。太田道灌像や時の鐘のライトも消されました▶暑くて寝苦しい夜が続きます。自分が小さいころは、夜クーラーをかけなくても寝ることができたような……。これも温暖化の影響でしょうか。電気をこまめに消したりエコバッグを使ったり、できることから取り組んで、温暖化を防止・改善していかなければと考えました。(HA)

世界の国から、こんにちは！



オーストラリア/グリフィス・エヴァン・アランさん

両親が日本で英語教師をしていたため、生まれたのは渋谷区です。3歳ぐらいでシドニー近郊のテリガルに引っ越して、高校まで生活していました。家の近くにはビーチが広がり、サーフィンを楽しむ人が多く訪れています。

結婚するため、4年前に日本に来ました。川越は、田舎と都会のバランスがとてもよく、外国人にも親切なところがいいですね。妻の父の知り合いが参加していたのがきっかけで、昨年からは新富町1丁目の山車を曳いています。ことしも川越まつりが待ち遠しいです。

*外国籍市民の皆さんを対象にした催しは10ページ・15ページ、相談は22ページをご覧ください。

国際交流課・TEL224-5506